



新年おめでとうございます。

先生方におかれましては、健やかに新春をお迎えのことと存じます。

広島市医師会をはじめ安佐、安芸地区、大竹市、佐伯地区、山県郡の各医師会の会員の先生方には日頃のご利用ならびにご指導に感謝し、厚く御礼を申し上げます。

当検査センターでは2020年7月に新型コロナウイルスPCR検査を導入以降、受託件数にあわせて検査処理能力を増やしてまいりました。一昨年までは1日1,100件を上限としておりましたが、昨年の第7波には2,100件まで処理能力を増やし、翌日に検査結果を報告する検査体制を整備することができました。今後も感染動向や行政の指針を注視しながら、地域の検査機関として担うべき役割を果たしていきたいと考えております。

従来から継続している診療支援としては、「疾患別検査ガイド」の「鼻アレルギー(通年性鼻炎・花粉症)2021」を昨年10月に学術講演会(WEB)を開催させていただきました。また、動脈硬化性疾患予防ガイドラインの改訂を受け、12月には「脂質異常症2022」を発刊いたしました。今後も新疾患のガイドラインの発刊および、各種学会ガイドラインの動向をみながら既刊を改訂していく予定です。

当検査センターでは、2009年のリスクマネジメント委員会発足以降、組織の基盤整備および人材育成に取り組んでまいりました。同時に検査の品質管理も強化し、2019年には臨床検査室の国際規格であるISO 15189の認定を取得しました。認定を取得したということは、臨床検査データの信頼性とそれを生み出す能力がある組織であることを認定されたこととなります。認定5年目に当たる今年も継続審査を受ける年となります。

本年も今まで以上に品質の維持・向上に努め、ご利用の先生方に安心して検査データを利用していただける検査センターを目指し役職員一同、誠心誠意努めてまいります。何卒お引き立ていただきますようお願い申し上げます。

最後になりましたが、先生方の益々のご健勝、ご発展を祈念し新年のご挨拶とさせていただきます。